

ゆうべつ

令和 6 年 7 月発行

第 51 号

発行 社会福祉法人

湧別町社会福祉協議会

社協だより



ふれあいサロンで おでかけ昼食会

芭露地区の「ふれあいサロンあい」では6月14日、御園山公園のバーベキューハウスにおいて、毎年恒例の「おでかけサロン」が催されました。

この日は、サロンスタッフによるレクリエーションと、ジンギスカンとチャンチャン焼きが用意された昼食を楽しみました。

食後の団らんでは、笑顔で会話を楽しむ光景が広がり、終始賑やかな時間になりました。

被災地の方へ今、私たちができること 令和6年能登半島地震災害義援金

1月より募金箱設置を中心に実施いたしました令和6年能登半島地震災害義援金募集について、町民の皆さんより多くの善意が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

6月30日をもって募集を終了いたしました。寄せられた義援金は、中央共同募金会へ送金いたしました。全国の関係団体等に寄せられた義援金は、能登半島地震災害義援金配分委員会に集約され、決定された基準により被災者の皆様へ届けられます。

令和6年能登半島地震災害義援金
義援金総額 625,815円

- 【内訳】
- ・募金箱 459,200円
 - ・各種団体 24,200円
 - ・「半崎美子コンサート2024 湧別」募金活動 70,248円
 - ・「幸せを呼ぶ貝殻募金」活動 72,167円

【募金箱内訳（事業所敬称略）】

- ・セイコーマート湧別店 147,361円
- ・Aコープ湧別店 43,865円
- ・ハマナスクラブゆうべつ芭露店 40,199円
- ・セイコーマートたかだ中湧別店 49,496円
- ・ツルハドラッグ湧別店 59,566円
- ・DCMニコット湧別店 50,568円
- ・（有）イワイ 6,144円
- ・かみゆうべつ温泉チューリップの湯 10,863円
- ・だるま軒 14,391円
- ・湧別町社協本所事務所 24,489円
- ・湧別町社協支所事務所 12,258円

幸せを呼ぶ貝殻募金

3月に被災地支援のため、石川県志賀町災害ボランティアセンターに応援派遣した当会職員が、支援先の女性から譲り受けたピンク色に輝く桜貝と紅貝という珍しい貝殻を小分けにし、募金返礼品とした『幸せを呼ぶ貝殻募金』を実施しました。

4月3日の開始日から大きな反響があり、町内外から多くの方が訪れました。用意した1000袋が数日で無くなり、72,167円の募金が集まりました。被災地を想うきっかけになったという声が多く寄せられました。

この募金は、災害義援金として被災地にお送りいたしました。



ただいま製作中です
ご当地ピンバッジ募金

令和6年の赤い羽根共同募金運動のひとつとして、今年もご当地ピンバッジ募金を実施します。毎年デザインを変えながら制作しているピンバッジは、8年目を迎えました。今年のデザインは、湧別社協のキッチンカーに乗ったチューピットです。

共同募金は、人口や世帯数の減少により募金額が減ってきていることから、このピンバッジ頒布が大きな募金確保につながっています。ただいま制作中で、8月頃から頒布を開始する予定です。準備が整いしだい、社協事務局のほか町内協力事業者様の店頭において頒布募金活動を行いますので、皆様のご協力をお願いします。

湧別町限定
かみゆうべつチューリップ公園
イメージキャラクター
チューピット



みんなの力を集めて
赤い羽根共同募金

高齢者を支える地域の見守り役です

あなたの街の福祉委員さん

令和6年4月1日より2年間、自治会ごとに活動する福祉委員が選出されました。

各地域の福祉委員は次の通りです。

【港町】	松久美子	【旭】	姉崎淳一
【曙町】	齊藤奈美	【5の3】	柴田マサ子
【緑町】	渡邊春美	【東町】	長谷川政之
【栄町】	黒川守行	【北町】	根子裕美子
【錦町】	伊藤淳子	【中町】	林勝江
【川西】	河村節子	【南町】	伊藤範子
【信部内】	加藤幸	【5の1】	西田洋子
【登栄床】	斎藤昌代	【屯市】	小野健三
【東】	北谷静香		川村香織
【芭露】	坂東素美子	【4の3】	駒形惇一
	中塚早智子	【4の2】	岡和博
	五島裕子	【4の1】	工藤秀夫
	上田正子	【開盛】	遠田哲夫
	加藤誠一	【富美】	横山俊一
	児嶋佐知子	【上富美】	山口一行
	稲熊敏則	【札富美】	片岡満雄
	羽田朱美		合計46名(敬称略)
	加藤あけみ		



- 【おもな福祉委員の活動】
- ◆声掛け・見守り訪問による地域課題の発掘
 - ◆ふれあい事業の参加とりまとめ、引率協力
 - ◆除雪サービス事業の希望調査
 - ◆および利用料の徴収
 - ◆緊急医療情報キットの設置
 - ◆ふれあいサロン事業の運営など

令和6年度 社協会費募集のお願い

社会福祉協議会は、地域福祉の推進を目的とした団体として「誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくり」のために、公共性と公益性を持つ福祉団体です。

社協活動の財源は、湧別町からの補助金や受託金、介護保険事業等の収入などがありますが、町民の皆様による善意の寄付や社協会費(普通会費、賛助会費、法人会費)が、重要な自主財源となっております。

社協会費のうち、町民の皆様による普通会費(1戸500円)、および一部の賛助会費については、自治会を通じて納入いただいております。

なお、賛助会費につきましては、101,000円から社協事務所において随時募集しております。また、法人会費につきましては、後日書面にてお願いのご案内をいたします。地域福祉活動事業の推進のための貴重な財源でありますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

- 【賛助会費の受付窓口】
- 湧別町社会福祉協議会事務局
 - ・本所 社会福祉会館内(南町)
 - ・支所 役場湧別第2庁舎内(栄町)

令和5年度事業報告

令和5年度湧別町社会福祉協議会事業報告および収支決算について、評議員会において承認されましたのでご報告いたします。

【社会福祉事業】

◆法人運営事業

- 【自主財源の確保】
- ・ 社協会費の徴収
- ・ 共同募金配分金

◆各種研修会への参加

- 【法人運営に伴う諸会議の開催】
- ・ 理事会 5回
- ・ 評議員会 3回
- ・ 監事監査 4回

【社協ホームページの開設】

【役員研修の実施】

- ・ 生活福祉資金貸付事業
- ・ 生活福祉資金貸付事業の有効的活用と推進

・ 研修会への参加

◆湧別町社会福祉事業検討会議の開催

◆共同募金配分金事業

【赤い羽根募金への協力】

- ・ 募金のPR活動及び募金活動への協力

【共同募金助成事業】

- ・ 老人クラブ連合会活動助成
- ・ ふれあいサロン活動助成
- ・ 小地域福祉活動支援
- ・ 福祉団体活動助成
- ・ 児童・青少年福祉活動助成

【歳末たすけあい募金事業】

- ・ 歳末たすけあい運動事業
- ・ おせち料理宅配117名

◆地域福祉活動事業

【ふれあい事業の開催】

- ・ 小地域ネットワーク活動推進
- ・ ふれあい散策会の実施
- ・ ふれあいサロンの運営支援
- ・ ふれあい食堂ポレポレの開設

【地域福祉活動支援事業】

- ・ 福祉車両等の貸出
- 【福祉委員活動の推進】
- ・ 見守り声掛け訪問活動

・ 福祉委員会議の開催 2回

【在宅介護者への支援事業】

- ・ ベッド、車椅子等の福祉用具の貸し出し

【除雪サービス事業】

- ・ 利用者 129世帯
- ・ 延利用回数 1,332回

【給食サービス事業】

- ・ 週2回配食、1食350円
- ・ 利用者77名 延5,674食

【緊急医療情報キット設置事業】

- 【地域福祉活動支援事業】
- ・ 地域イベント用機器貸出事業 合計27件

【ボランティアポイント事業】

- ・ チューリップSTAMPポイント付与事業 合計14事業

◆ボランティア活動事業

- 【ボランティア活動推進】
- ・ 各種研修会への参加
- ・ 管内V活動推進会議

【ボランティア活動育成事業】

- ・ ボランティア団体、児童生徒ボランティア活動助成

◆町委託事業

- 【生活支援体制整備事業】
- 【外出支援サービス事業】
- ・ 延利用回数 41回

【軽度生活援助事業】

- ・ 延利用回数 12回
- 【訪問型介護予防事業】
- ・ 延訪問回数 48回

【生活管理指導員派遣事業】

- ・ 延利用回数 17回
- 【養育支援訪問事業】
- ・ 延訪問回数 48回

【生きがい対応型サービス事業】

- ・ 生きがいデイサービス開設

湧別地区

- ・ 利用者数 延1,540名
- ・ 上湧別地区 利用者数 延2,346名

◆障害者自立支援事業

- ・ 居宅介護事業
- ・ 重度訪問介護事業
- ・ 相談支援事業

◆社会福祉会館管理事業

- ・ 湧別町社会福祉会館指定管理業務

◆各種団体の運営

- ・ 湧別町老人クラブ連合会
- ・ 網走地区身体障害者福祉協会湧別分会
- ・ 湧別町共同募金委員会

【公益事業】

◆介護保険事業

- ・ 訪問介護事業
- ・ 居宅介護支援事業

・ 各種研修会への参加

◆日常生活自立支援事業

- ・ 法人後見受任件数 1件

◆移動販売事業

- ・ 地域移動食堂キッチンカー事業

稼働日数 計30日

- ・ 利用者数 延761名

令和5年度 湧別町社会福祉協議会決算報告

(単位：円)

資金収支計算書

科目	金額	科目	金額
人件費支出	111,414,254	会費収入	2,480,000
事業費支出	17,099,820	寄付金収入	4,970,000
事務費支出	14,002,761	経常経費補助金収入	43,932,380
共同募金配分金事業費	1,826,993	受託事業収入	29,186,187
助成金支出	650,000	事業費収入	5,114,550
負担金支出	722,012	介護保険事業収入	60,475,143
雑支出	0	障害福祉サービス事業収入	4,065,910
固定資産取得支出	5,576,000	雑収入	782,372
積立資産支出	1,320,397	受取利息配当金収入	8,742
その他活動支出	0		
支出計(2)	152,612,237	収入計(1)	151,015,284
予備費支出(3)			0
当期資金収支差額合計(4) = (1) - (2) - (3)			△ 1,596,953
前期末支払資金残高(5)			33,719,860
当期末支払資金残高(4)+(5)			32,122,907

事業活動収支計算書

科目	金額	科目	金額
人件費支出	109,202,274	会費収益	2,480,000
事業費支出	17,099,820	寄付金収益	4,970,000
事務費支出	14,002,761	経常経費補助金収益	43,932,380
共同募金配分金事業費	1,826,993	受託金収益	29,186,187
助成金支出	650,000	事業収益	5,114,550
負担金支出	722,012	介護保険事業収益	60,475,143
減価償却費	4,459,722	障害福祉サービス等事業収益	4,065,910
その他費用	0	雑収益	782,372
固定資産処分損	2	受取利息配分金収益	8,742
その他特別損失	0		
支出計(2)	147,963,584	収入計(1)	151,015,284
当期末繰越活動収支差額(3) = (1) - (2)			3,051,700
前期繰越活動収支差額(4)			39,214,528
当期末繰越活動収支差額(5) = (3) + (4)			42,266,228
その他の積立金取崩額(6)			0
その他の積立金積立額(7)			3,532,377
次期繰越活動収支差額(8) = (5) + (6) - (7)			38,733,851

財産目録

科目	金額
流動資産	39,997,424
現金預金	27,196,844
未収金・未収補助金	12,585,612
前払費用	214,968
固定資産	65,158,178
基本財産	2,000,000
車両運搬具	5,448,760
器具及び備品	1,152,181
構築物	3
投資有価証券	10,000
退職給与積立金	44,718,592
福祉資金貸付預金	2,000,000
その他の積立金	9,828,642
資産の部合計	105,155,602
流動負債	7,874,517
未払金	5,253,997
預り金	2,471,330
未返還金	149,190
固定負債	44,718,592
退職給与引当金	44,718,592
負債の部合計	52,593,109
差引純財産	52,562,493

貸借対照表

科目	金額	科目	金額
流動資産	39,997,424	流動負債	7,874,517
現金預金	27,196,844	未払金	5,253,997
未収金	12,335,612	預り金	2,471,330
未収補助金	250,000	未返還金	149,190
前払金	0	固定負債	44,718,592
前払費用	214,968	退職給与引当金	44,718,592
仮払金	0		
固定資産	65,158,178	負債合計	52,593,109
基本財産	2,000,000	純資産	4,000,000
車両運搬具	5,448,760	基本金	2,000,000
投資有価証券	10,000	貸付基金	2,000,000
器具及び備品	1,152,181	その他の積立金	9,828,642
構築物	3	次期繰越活動収支差額	38,733,851
退職共済積立資産	26,212,850		
退職手当積立資産	18,505,742		
福祉資金貸付預金	2,000,000		
その他の積立金	9,828,642		
		純資産合計	52,562,493
資産合計	105,155,602	負債・純資産合計	105,155,602

地域の支え合い活動を考える学習会

期日

8月26日(月)

もしも…大きな災害が起きた時、一番はじめに手を取り合い、支え合うのはご近所の身近な人たちです。日常の地域のつながりこそ万が一の時に役立つネットワーク。



◆時間 午前10時～午前11時30分
◆会場 湧別町文化センターさざ波 多目的ホール(栄町)

参加費無料

湧別町民の方は、どなたでも参加できます

講演 テーマ

自然災害等で必要なネットワークづくり。それは普段の近所づきあいから。すでにある仕組みを生かし、防災・減災から見つめた「地域のつながり」からなるネットワークづくりの仕掛けとは

防災を求心力とした 地域社会の現実的なネットワーク化の提案



講師

北星学園大学 社会福祉学部社会福祉学科

教授 **岡田直人氏**

北海道社会福祉学会会長
札幌市社会福祉協議会「さっぽろ市民福祉活動計画」策定委員会委員長
北海道共同募金会配分委員会委員長 北海道社会福祉審議会臨時委員 ほか

- ◆参加方法 / 当日参加も可能ですが、準備の都合上、事前に申し込みをお願いいたします。
- ◆申し込み・問い合わせ先 / 湧別町社会福祉協議会事務局(電話2-2197)

湧別町社協ボランティアポイント付与対象事業

本学習会に参加された方には、チュールリップSTAMP100ポイントを進呈しますので、カードをご持参ください。

主催 湧別町社会福祉協議会 (湧別町生活支援体制整備事業 受託者)
共催 湧別町

能登半島地震被災地で継続的な支援活動 石川県志賀町災害ボランティアセンターへ職員再派遣

今年1月に発生した能登半島地震では、広範囲に及ぶ激甚災害に見舞われ、発災から半年を迎えてもなお生活再建のためにボランティアの力を必要としている被災者が多いのが現状です。

湧別町社協では3月、石川県志賀町の災害ボランティアセンターに職員を応援派遣しましたが、ボランティア活動の長期化により再度、派遣要請があり6月12日から7日間、職員1名を派遣しました。今回の派遣では、道内の社協職員4名で応援派遣チームを編成し、支援を求める住民の調査や、ボランティアの調整などのセンター運営業務に携わりました。

現在も、倒壊家屋がそのままの状態の地域があり、現地での業務を終えた職員は「被災者から苦悩の日々を聞き、心が痛むことがたくさんありました。しかし、以前のような生活に戻るよう、少しずつ前に向かって進んでいると感じました」と振り返りました。



ひとり暮らし高齢者を「お話し相手」でサポートします

おはなし訪問サポーター事業

社協では、外出や地域の人との交流が少ないひとり暮らし高齢者を支援するため、お話し相手をするボランティアが訪問する地域福祉サービスを実施いたします。

「昔話やたわいもない話をするだけで、気持ちが明るくなり、普段の暮らしが明るくなった」という方は少なくありません。「以前のように出掛けることがなくなり、ひとりで過ごす時間がほとんど」という方でも、誰かが来てくれるなら嬉しい、ということはないでしょうか？ボランティアさんとおしゃべりをして、普段の暮らしに彩りを添えませんか。ご希望の方は、ぜひご利用ください。



おはなし訪問サポーター事業

【対象】町内に住むひとり暮らしの高齢者で、外出や地域交流の機会が少なく、お話し相手の訪問を希望する方。

【内容】月2回程度、おはなし訪問サポーター（地域ボランティア）が利用者の自宅を訪問し、お話し相手を行います。

【日時】平日の午前10時から正午まで、午後1時から午後4時までの間の1時間

【料金】無料

【その他】①お話し相手以外の生活援助サービスはできません。

②利用開始前に、希望者の生活状況の聞き取りや、サービス内容の確認などを行うため、生活支援コーディネーター（湧別社協職員）が自宅を訪問します。

【申込・問い合わせ先】湧別町社会福祉協議会本所（南町、電話2-2197）

あたたかい寄付金ありがとうございます

(令和6年4月1日から令和6年6月30日まで)

■香典返しを廃止して

(敬称略)

月日	住所	氏名	金額	月日	住所	氏名	金額
4.1	4の3	國枝 徹	30,000	6.3	5の1	安瀬 榮	200,000
4.1	芭露	松本 桃子	50,000	6.3	志撫子	伊藤 実	30,000
4.2	上芭露	三浦 寿章	30,000	6.10	南町	松本 和子	50,000
4.9	5の3	松浦 健治	100,000	6.10	紋別市	大久保 二三保	100,000
4.25	屯市	高崎 幾子	30,000	6.12	4の3	三品 博恵	50,000
5.1	屯市	三品 榮二	30,000	6.17	南町	川口 真仁	10,000
5.14	5の1	平野 美代子	50,000	6.24	南町	吉田 八代恵	30,000
5.27	曙町	笹渕 京子	30,000	6.24	4の3	青柳 恒敏	50,000
5.28	上芭露	三木 おたか	10,000	6.27	屯市	近藤 安秀	30,000

■福祉活動に役立てて

(敬称略)

住所	氏名・会社名	品名
東町	アサヒ食品工業(株)	食品(うどん・そば・ラーメン) 給食サービス・デイサービスにありがとうございます。

昼食をとりながら地域交流を 移動地域食堂キッチンカーをご利用ください

湧別社協では、地域福祉事業の一環としてキッチンカーによる食事提供を実施しています。

このキッチンカーによる地域住民を対象とした昼食の販売を、ふれあいサロンゆうの開所にあわせて行います。ふれあいサロンの参加者以外でもご利用できますので、地域住民の交流機会としてぜひご利用ください。皆さんのお越しをお待ちしています。

【開所日】

毎月第4金曜日(ふれあいサロンゆうの開所日に準じる)
※天候等の理由により、やむを得ず中止の場合があります。

【開所時間】

11時30分～12時30分(無くなり次第終了します)

【メニュー】

・カレーライス300円、焼きそば200円 ほか

【場所】

湧別町保健福祉センター玄関前(栄町)

【お問い合わせ】

湧別町社会福祉協議会事務局(本所、電話2-2197)



湧別町社協のホームページ・フェイスブック ぜひご覧ください

ゆうべつの地域福祉活動のこと、社協のことなどを発信しています!



湧別町社会福祉協議会 本所 湧別町中湧別南町(湧別町社会福祉会館内) 電話2-2197
支所 湧別町栄町(湧別町役場湧別第2庁舎内) 電話5-3772